

# 令和7年度 学校推薦型選抜

埼玉大学 工学部

環境社会デザイン学科

## 問題冊子

### 小論文

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、表紙を含めて4ページからなっている。枚数の不足や、印刷に不鮮明なところがあれば申し出ること。
3. 解答は、必ず答案用紙の指定された箇所に記入すること。
4. 試験開始の合図があったら、答案用紙のホチキスの針をはずし、受験番号を、2枚の答案用紙の所定の欄にそれぞれ記入すること。記入を忘れたとき、あるいは誤った番号を記入したときは失格になることがある。
5. 解答時間は90分である。
6. 試験終了の合図があったら解答を止めて、答案用紙を机上に置くこと。
7. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってもよい。



問1. 流域治水とは何か、あなたの言葉で説明しなさい。(100字程度)

問2. 流域内での貯留を増やす対策について、どのような土地を活用するのが良いか、「公共の土地」と「民間の土地」の具体例をそれぞれ一つ挙げて、貯留機能をどのように持たせるか、またその場合に発生しうる課題を書きなさい。(150字程度)

問3. 図中にあるように、被害対象をリスクの高い地域からリスクが低い地域に移転させることが、被害対象を減らす対策の一つとして挙げられている。このような移転を行う場合において、社会的な側面から、どのような利点と欠点があると考えられるか、あなたの考えを述べなさい。(200字程度)

問4. 避難体制の強化について、地域住民同士が協力することがより有効と考えられている。あなたが災害に直面した場合、どのように協力するか、あなたの考えを述べなさい。(150字程度)





下書き用紙(その1)



